

現場DX・帳票電子化の最大の壁は「現場の抵抗…」

現場帳票システム「i-Reporter」の電子帳票は なぜスムーズに現場へ浸透するのか？

ユーザーレビューからわかるホワイトペーパー

Powered By



現場が受け入れてくれず帳票電子化が進まない！

「帳票の電子化で、現場の生産性を上げたい」

「転記の手間を減らし、管理コストも抑えたい」

——それは、多くの企業の管理者が抱える共通の願いです。

しかし現場からは、こうした“理想の効率化”が、かえって“現場の混乱”を招くことがあります。

2025年4月に公表されたデータでは、製造業の現場帳票における紙・Excelの管理率が69.6%に達し、2022年比で5.9ポイント増加。

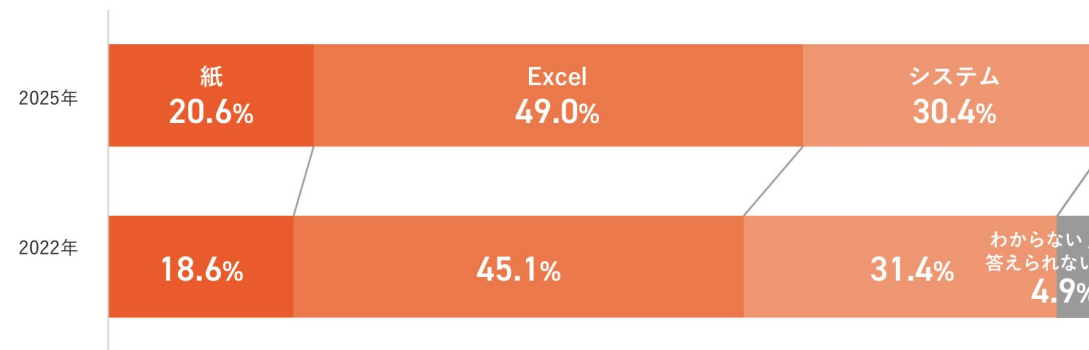
DX推進の掛け声とは裏腹に、現場では“アナログ回帰”が進んでいる——そんな実態が見えてきました。

このギャップの正体は、「導入の是非」ではありません。
問題は、そのデジタル化が“定着”しなかったことにあります。

慣れた紙からの移行に、現場が抵抗を感じるのは当然の反応です。
もし“使いにくいツール”が押し付けられたなら——それは「改善」ではなく
「負担」として認識され、やがて現場は紙に戻ってしまうのです。

Q

あなたのお勤め先では、
現場帳票を主にどのように管理していますか。n=102



※ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000174.000074154.html>

【2025年版調査】製造業の現場帳票に関する実態調査
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000174.000074154.html>)



「i-Reporter」の活用が現場の壁を突破

「紙の帳票を電子化したいけど、現場が受け入れてくれない…」そんな課題を抱えた管理者にぜひ活用いただきたいのが、現場帳票システム「i-Reporter（アイレポーター）」です。

「i-Reporter」であれば、いままで使い慣れた、現場ノウハウの詰まった紙帳票のレイアウトを、そのまま電子帳票に置き換えることができます。これまでと帳票が変わらないので現場の方も直感的に理解することができ、抵抗なく受け入れられます。

IT製品・サービスのレビューサイト「ITreview」には、製品使用中のユーザーからさまざまな“声”が寄せられています。2025年4月現在「i-Reporter」へのレビュー312件中、86件（27.3%）が「紙をそのまま電子化できる」ことを評価しています。実際にはどのようなレビューが寄せられているのでしょうか。次ページ以降で紹介していきましょう。



The screenshot shows the i-Reporter website. At the top is a navigation bar with links like 機能, 業種別, 導入事例, etc. The main headline reads "現場帳票システムのシェアNo.1は i-Reporter (アイレポーター)". Below this are two buttons: "資料ダウンロード (無料)" and "お試ししてみる". To the right is an image of a person using a tablet displaying the i-Reporter interface. At the bottom, there are several award logos (ITreview Best Software, etc.) and statistics: "国内シェア No.1", "導入実績 4,000社以上", and "ユーザー数 21万人以上". Small text at the bottom right provides publication information: "※出典:富士キメラ総研 2024年8月8日発行 業種別IT投資/デジタルソリューション市場 2024年版 I-2 現場帳票ペーパーレス化ソリューション 市場占有率48.6% (2023年度のベンダーシェア・数値)"

Pickup!



情報システム関連職
医薬品・化粧品
1000人以上

帳票電子化には最適なツール

従来使用していた紙の記録書に記入する感覚で使用できる→導入時の利用者への操作教育が少ない回数でも理解できる。製造条件規格値の上下限チェックや必須入力項目設定機能などにより、異常値の見逃しや記録不備が防止でき、記録書としての精度が向上した。一部の工程にi-Reporterを導入。記録帳票の回覧・保管管理作業の所要時間が年間36時間程度削減できました

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/120433>

Pickup!



社内情報システム関連職
プラスチック製品
100-300人未満

簡単な作業で紙の帳票を電子化するツール

Excelで作成されている帳票を元に、このセルには数字を入力する、このセルには文字を入力する、と設定するだけで、簡単に電子帳票を作成できる。そのため学習コストが低く、一般社員の人でも少し作り方を教えるだけで、自分たちでExcelの帳票をi-Reporterで使えるように実行してくれました。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/119827>

Pickup!



製造・生産技術職
電気・電子機器
300-1000人未満

i-Reporterについて

既存のExcelの入力フォーマットを比較的簡単に再現できます。入力データもPostgreSQL Serverに蓄積され、データ抽出、データ連携など業務の効率化につながります。紙帳票の削減により、今までの保管スペースを別の置き場として有効活用。紙帳票を印刷する必要がなくなったので、消耗品費の削減につながった。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/120377>

Pickup!



社内情報システム関連職
その他製造業
100-300人未満

自由度の高い電子帳票ソフト

・現場で使用している帳票の元エクセルを使用して電子帳票化できる敷居の低さ、i-Reporter自体の機能が充実していて開発しがいがある。敷居は低いが自由度が非常に高いのが気に入っています。
紙の帳票をそのまま電子化することもできますが紙でやっていた以上の事を電子帳票で実現できたのが非常にうれしかったです。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/210266>

「i-Reporter」の活用が現場の壁を突破

紙の帳票をそのまま電子化できる「i-Reporter」の導入によって、電子帳票が現場へスムーズに浸透することでしょう。これにより現場部門、管理部門の双方に、以下のメリットがもたらされます。

①現場部門、管理部門の労働生産性の向上、省人化を実現できる

現場作業者は抜け漏れミスなく、効率的に現場情報の記録ができる。管理部門はデジタル化された現場情報をリアルタイムに閲覧、集計でき、記録後の処理工数が大幅に削減できる。

②誰でも簡単に現場改善を主体的に進めることができる

既存の帳票データ（Excel）を用いて、誰でも簡単に現場帳票のデジタル化が可能。現場作業主体で画面レイアウトの編集が行え、改善速度も非常に早い。既存帳票をデジタル化できるので、一から覚える必要がなく教育コストも低い。

③入力内容、作業方法の標準化、データの蓄積、データベース化が容易に

作業順番や入力項目値を予め設定しておくことで、作業者は効率的に、属人化しない形での入力、データの蓄積が可能。記録した内容はデータベースに記録されるので、データの出力&集計や、分析も容易に可能。

④多岐にわたる入力支援機能を用意しているので、効率的に抜け漏れミスがなく作業、記録できる

入力順の制御や、写真添付、マスタからの自動入力、選択肢での入力、バーコードからの自動入力、計測機器との連携、PLCとの連携、マニュアルの参照などの入力支援機能により、紙よりも素早く、効率的に作業と記録が可能。WindowsやiOSアプリからの入力、Webブラウザからの入力、チャットアプリとの連携など入力インターフェースも複数あり、現場環境にあった利用が可能。

現場部門・管理部門の
労働生産性の向上と
省人化を実現できる

誰でも簡単に
現場改善を主体的に
進めることができる



i-Reporter の導入

アイレポーター

入力内容・作業方法の
標準化やデータの蓄積、
データベース化が容易

入力支援機能により
抜け漏れミスなく
効率的に作業、記録

Pickup!



ノンコードでの機能が満載

製造・生産技術職
その他製造業
1000人以上

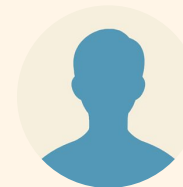


ノンコードの機能が豊富であり組み合わせ方で解決できることがある。例えば、帳票を呼び出す際にカスタムメニューを使用しているが、カスタムメニューには限界があり、全ての帳票を呼び出すことができない。しかし帳票に付与される IDを元に設定される URLを使うことができる。作業の流れで、①の帳票作成後に②の帳票を呼び出す必要がある場合、①の帳票に「アクションボタンで URLを開く」を設定すると、カスタムメニューを使わなくても②の帳票を呼び出すことができる。②の帳票は別ウィンドウで開くため、①の帳票の作業を終わらせてから②の帳票作業を行うことが可能となる。

現時点で、約1200種類の帳票定義を行っていますが、定義ができないなどの問題は発生しておりません。この後も1000種類以上の帳票定義を行う予定ですが、問題は発生しないだろうと考えています。これにより、紙運用が無くなり、印刷及び紙の保管などが無くなることとなります。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/116872>

Pickup!



発想と工夫次第で可能性が広がります

社内情報システム関連職
自動車・輸送機器
300-1000人未満



IF、COUNT、SUM、VLOOKUPなど現時点で42のExcel関数が使用できますので、i-Reporterの機能と組み合わせることさまざまな表現や制御ができる。帳票保存時に自動CSV出力、ユーザーごとに記入できる項目を制御など細かい設定もできる。SQLやPythonを使える人はConMas Gateway機能で他システムとのリアルタイム連携ができる。これらさまざまな使い方をクラウド5ユーザーからオンプレミスまで“自社に合った導入”ができるところが良いと思います。

作業日報を基幹システムに入力する作業が1日300分ほどあったのですが導入半年で半減しました。残りの帳票もi-Reporterにしていまえば0分になります。現場でも面倒な計算が無くなったり入力間違いが減ったりと概ね好評です。作業日報の他にも改善提案や品質チェックシートに展開済。ConMas Gateway機能を使い始めてからはあれもこれもできる(やりたい)とアイデアが湧いてくる日々です。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/88314>

Pickup!



DXとは言いませんが、ペーパーレス等の一歩にはなっているかと

その他モノづくり関連職
その他製造業
100-300人未満



3年目ユーザー(オンプレミス、i-Reporter PLUSあり)です。設備などの日常点検表の切替を端緒として、出荷検査記録・作業日報。今季からは勤怠関係の届出も一部開始しました。基本、現状利用しているExcelでのフォーマットを新たに作成せず転用可能なところがポイントです。データベース連携も強化されており、他社製の連携できるツールも多いので、各業態でも適応させやすいかと。

日常点検表は、月ベースでの切替を行っていますが、QRコードからの呼出機能で、各工程ピンポイントでの呼出と毎日の点検を、同一の帳票(フォーマット)にて、月単位継続して、入力も可能です。規格ハズレでの誤入力・気づき強化が可能。出荷検査記録は、Max80件/日ほどの出荷検査記録の発行、社内保管の電子化。製品仕様を基幹システムからの取込にて検査員の検査記録への転写工数を50%以上削減が行うことができました。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/120342>

Pickup!



工事現場で使用してみた

その他一般職
その他サービス
20-50人未満



役所の役務で、作業写真や状況写真を提出しなければならないのですが、提出する書類を現場で作成できるのが素晴らしい。主に写真帳で使用しているが、基本的に定型コメントが多いので「事前にコメントを登録して選択方式にする」「写真をiPadで撮影する」という簡単な操作だけで現場内で帳票が完成する。各入力項目に名前を付け、CSVで出力して、Excel(VBA)などで読込しやすいのも良い。入力ミスが減少する点や、操作が簡単な点も高評価。

今まで一日2-3時間程度かけて「デジカメ」と「表計算ソフト」を駆使して書類を作成していたが、現場で書類作成が完結できるため、8-9割程度の時間削減につながった。さらに、現場で帳票の確認をしながら作成ができるため、写真の撮り忘れが激減した。結果として、報告書の完成度が向上し、定時退社できる日が増えた。

 <https://www.itreview.jp/products/i-reporter/reviews/111204>

「i-Reporter」はITreview Best Software in Japan に4年連続受賞 i-Reporter



ランキング上位には、Slack・Teams・Notionなど、ビジネス全体で広く使われている汎用ツールが名を連ねています。

i-Reporterはそれらとは異なり、“作業報告・帳票管理”という現場特化の業務領域にフォーカスしたプロダクトです。

それでも今回、そうした汎用ツールと肩を並べる順位にランクインできたのは、日々の業務の中で使い込んでくださっている現場の方々から、数多くのリアルな声をいただいたからに他なりません。

i-Reporterは、これまで紙やExcelが支配してきた現場記録の世界に、着実なデジタル化の流れを生み出してきたプロダクトです。

その積み重ねと、お客様一人ひとりの現場の声が、**i-Reporterを今や「現場帳票システムのデファクトスタンダード」と**と呼ばれる存在へと押し上げてくれました。

お問い合わせ

株式会社シムトップス
<https://i-reporter.jp>

お問い合わせフォームはこちら



i-Reporterは、顧客の声に耳を傾け、進化し続けています。
その姿勢が評価され、史上初の2年連続
「Customer Voice Leaders」に選出されました。

▼ Customer Voice Leadersとは
B2B向けIT製品 / SaaSのレビュープラットフォーム『ITreview（アイティレビュー）』が、ITreviewを利用し、顧客の声に向き合い、顧客を中心にビジネスを回し、自社・顧客ともに成功している企業を表彰するものです。

[i-Reporterの基本がわかるオンデマンドセミナー公開中](#)

